

部局長会議議事要旨

日時 平成20年2月19日(火) 午後2時35分～4時15分

場所 事務局301会議室

出席者 鷲田総長

西田、小泉、西尾、高杉、門田、武田、辻 各理事

杉本(外)、天野(文)、近藤(人)、三成(法)、本多(経)、小谷(理)、遠山(医)、米田(歯)、

山元(薬)、豊田(工)、戸部(基)、金崎(言)、床谷(国)、今瀬(情)、近藤(生)、菊谷(微)、

川合(産)、月原(蛋)、大竹(社)、野城(接)、林(医病)、江口(博)、工藤(大)、

馬場(先端)、高橋(世界)、竹村(サ)、三間(レ)の各部局長

オブザーバー 守山(保)、大和谷(総長補佐)

欠席者 佐々木(理事)、松川(高)、雫石(歯病)、古城(留)、奥西(日日)、岸本(核)

代理出席 三牧(留)、土岐(核)、小林(コ)

前回議事要旨(案)の確認

前回(1月16日)の議事要旨(案)について、特に意見等があれば2月22日(金)までに総務部総務課へ提出の上、確定することとした。(なお、同日までに意見の提出はなく、原案のとおり確定した。)

議 事

1 総長主催による退職教授との懇談会について

総長主催による退職教授との懇談会を3月19日(水)17時30分から銀杏会館において開催する旨の報告があり、退職教授所属の部局長に対して出席依頼があった。

2 室体制、室員数、室員の管理職手当及び室員候補者の推薦について

平成20年4月から室体制を改組するとともに、整備本部、推進本部を設置して体制強化を図ること、これに伴い各室の室員数を変更し室員の管理職手当を改めること、併せて室と理事の担当業務を見直すとともに総長補佐の担当業務を整理する旨、配付資料に基づき説明があった。

続いて、改組後の各室の室員候補者について、適任者を推薦願いたい旨の依頼があった。

3 阪大坂における自転車通行禁止について

阪大坂において自転車に関係する事故が多発していることから、平成20年4月から阪大坂及びその周辺地域において自転車の通行を規制することとしたい旨、配付資料に基づき説明があり、了承された。

4 箕面地区の構内入構規制について

平成20年4月から吹田・豊中両地区と同様の取り扱いをすることとしていた箕面地区の

車両入構規制について、実施時期を平成 20 年 10 月まで延期したい旨の説明があり、了承された。

5 障害者雇用促進法に基づく障がい者雇入れ計画の促進について

障害者の雇用を促進するための対応策として策定した雇入れ計画の説明と、この計画の実施に際して必要となる経費の二分の一の額を各部局等に所属する教職員数の構成比等に応じて負担願いたい旨の説明があり、了承された。

6 平成 20 年度大学留保ポスト配分案について

各部局から要求のあった平成 20 年度大学留保ポストの配分について、総長及び理事による検討結果及び総合計画室会議における審議検討により配分案を作成した旨、配付資料に基づき説明があり、了承された。

7 株式会社本田技術研究所との連携推進に関する協定の締結について

ロボット工学分野において相互協力が可能な分野における連携を実現するため、株式会社本田技術研究所と連携推進に関する協定を締結する旨、配付資料に基づき説明があった。

8 知的財産ポリシーの一部改正について

1 月 16 日開催の部局長会議において説明した知的財産ポリシーの一部改正案について、各部局に意見照会を行った結果、特に意見がなかった旨の報告があり、本日開催の発明委員会及び役員会に附議する旨の説明があった。

9 平成 20 年度に行われる中期目標の評価（暫定評価）

- (独)大学評価・学位授与機構が行う「教育研究評価」(現況調査) -

各学部、研究科等に修正依頼中の「教育研究評価」(現況調査)に係る「現況調査表」の修正時の留意事項について説明があり、併せて、教育研究評価実績報告書等作成実務担当者説明会(1 月 10 日(木)開催)において説明のあった「現況調査表」の評価方法について報告があった。

10 教育・研究功績賞について

教育・研究功績賞の平成 19 年度受賞者を配付資料のとおり決定した旨の報告があり、昨年度と同様ホームページ等を通じて学内外に P R を行うが、各部局においても同賞の広報に協力願いたい旨の依頼があった。

11 Annual Report of Osaka University 2007 -2008 掲載論文の募集について

アニュアルレポート 2007 -2008 に掲載する論文の募集を開始した旨の報告があり、併せて各部局における応募促進に協力願いたい旨の依頼があった。

12 海外拠点の現状について

海外拠点の現状について、配付資料に基づき報告があった。

1 3 監事監査報告について

大阪外国語大学統合に伴う監査の結果について、配付資料に基づき報告があった。

1 4 平成 20 年 1 月分超過勤務実績について

1 月分の部局別の超過勤務実績について、配付資料に基づき報告があった。